

秋田南中学校・築山小学校・中通小学校併設校整備に伴う  
基本・実施設計業務委託に関する公募型プロポーザル  
技術提案書評価要領

1 事務所の実力

- (1) 事務所の資格別技術者数  
下表により評価する。

評価基準	換算係数
換算技術者数 6人以上	1.0
換算技術者数 3人以上6人未満	0.6
換算技術者数 3人未満	0.2

ここで、  
換算技術者数 =  $\Sigma$  (各分野における技術者数 × 下表により算出した換算係数)

分野	評価する技術者資格	換算係数	
		自事務所所属	協力事務所所属
建築	一級建築士	1.0	0.75
	二級建築士	0.4	0.3
	建築積算資格者	0.4	0.3
	その他	0.2	0.15
電気設備	建築設備士 技術士 一級建築士	1.0	0.75
	一級電気工事施工管理技士	0.4	0.3
	二級電気工事施工管理技士	0.2	0.15
	その他	0.2	0.15
機械設備	建築設備士 技術士 一級建築士	1.0	0.75
	一級管工事施工管理技士	0.4	0.3
	二級管工事施工管理技士	0.2	0.15
	その他	0.2	0.15

- (2) 事務所の主要業務実績  
主要業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、受注形態、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

- (3) 事務所の同種・類似業務実績  
類似業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、業務の受注形態、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた類似業務実績がある	1.0
普通の類似業務実績がある	0.6
類似業務実績に問題がある	0.2

## 2 担当チームの能力

- (1) 総括責任者の資格、経験年数  
下表により評価する。

換算経験年数（年）	換算係数
23 ～	1.0
18 ～ 22	0.9
13 ～ 17	0.7
～ 12	0.6

ここで、  
換算経験年数 = 経験年数 × 1 (1) における技術者資格に応じた換算係数

- (2) 各担当主任技術者の資格、経験年数  
各担当主任技術者について、下記により評価する。

換算経験年数（年）	換算係数
13 ～	1.0
8 ～ 12	0.8
5 ～ 7	0.6
～ 4	0.5

ここで、  
換算経験年数 = 経験年数 × 1 (1) における技術者資格に応じた換算係数

- (3) 各担当技術者の資格、経験年数  
2 (2) 各担当主任技術者の資格、経験年数と同様に評価する。

- (4) 総括責任者の業務実績  
総括責任者の業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、立場、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

- (5) 建築担当主任技術者の業務実績  
建築担当主任技術者の業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、立場、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

### 3 業務実施方針

提出された技術提案書、ヒアリングの内容をふまえ、下記により総合的に行う。

- (1) 業務への取組体制
- (2) 工程計画、動員計画
- (3) 設計上特に配慮する事項等

評価基準	換算係数
極めて優れている	1.0
優れている	0.8
普通	0.6
劣っている	0.4
極めて劣っている	0.0

### 4 課題に対する提案内容

下記の3点について、総合的に評価する。

的確性・・・与えられた条件と整合性がとれている提案か

独創性・・・ノウハウや知識・経験を活かした創意工夫が見られ、効果が見込める提案か

実現性・・・提案内容が具体的かつ実現可能なものであり、説得力のある提案か

- (1) 児童生徒および教職員のための学校づくりの考え方について
  - ア 個別最適な学びや協働的な学びなど多様な学習活動に柔軟に対応できる空間づくりの工夫
  - イ 小中連続した児童生徒の学びのつながりや異年齢交流、小中学校教職員の連携を意識した施設計画の工夫
  - ウ 児童生徒の成長、発達段階に応じた建築計画の工夫
  - エ ワークショップの実施など、学校関係者の意見を聞きながら連携して学校づくりを進めていくための方策
- (2) 機能性や耐久性を有し、経済性に配慮した施設整備の考え方について
  - ア 近年の建築コストの上昇に対する工事費縮減に向けた方策
  - イ 脱炭素社会の実現に向けた省エネやランニングコストの縮減、将来の設備更新や維持管理への配慮
- (3) 学校の地域連携に対する考え方について
  - ア 災害時における学校活動の継続や避難所の開設等に配慮した施設計画の工夫
  - イ 児童室の併設や屋内運動場の地域開放等に配慮した動線計画および施設管理上の工夫
- (4) 施工計画について
  - ア 限られた敷地内における工事ヤード確保や工事期間中の学校利用者および周辺地域への配慮など施工計画の提案

評価基準	換算係数
極めて優れている	1.0
優れている	0.8
普通	0.6
劣っている	0.4
極めて劣っている	0.0

### 技術提案書評価表

提案者名			審査委員名			
			(a) 配点	(b) 係数	(a)×(b) 得点	備 考
<b>1 事務所の能力 ( 3点 )</b>						
(1) 資格別技術者数			1	●		様式 4
(2) 主要業務実績			1			様式 5
(3) 同種・類似業務実績			1			様式 6
<b>2 担当チームの能力 ( 15点 )</b>						
(1) 総括責任者の資格、経験年数			2	●		様式 9-①
(2) 各担当主任技術者の資格、経験年数						様式 9-①, ②, ③
建築担当		2	●			
構造担当		1	●			
積算担当		1	●			
電気担当		1	●			
機械担当		1	●			
(3) 各担当技術者の資格、経験年数						様式 9-④, ⑤
建築担当		1	●			
構造担当		0.5	●			
積算担当		0.5	●			
電気担当		0.5	●			
機械担当		0.5	●			
(4) 総括責任者の業務実績			2			様式10
(5) 建築担当主任技術者の業務実績			2			様式11
<b>3 業務実施方針 ( 10点 )</b>						
(1) 業務への取組体制			3			様式13, ヒアリング
(2) 工程計画、動員計画			3			様式13, ヒアリング
(3) 設計上特に配慮する事項等			4			様式13, ヒアリング
<b>4 課題に対する提案内容 ( 72点 )</b>						
(1) 学校づくりの考え方について		ア	10			様式14, ヒアリング
		イ	10			
		ウ	10			
		エ	6			
(2) 機能性や耐久性を有し、経済 済性に配慮した施設整備の考 え方について		ア	8			
		イ	8			
(3) 学校の地域連携に対する考 え方について		ア	6			
		イ	6			
(4) 施工計画について		ア	8			

●部分は事務局で記入